

# 青少年育成委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎前田訓以、○金山栄達、渡部俊介、岩田美菜江、矢田敦子

## 2. 委員長所信（基本方針）

今の子どもたちは少子化による近所の友達の減少、習い事やスポーツへ取り組む子も多く、友達と遊ぶ時間自体減少しています。さらに地域との関わりも減り、子どもたちが様々な人達との出会うことにより得られる感性や将来への可能性を切り拓く機会の減少にも繋がっているものと強く感じます。また家庭での日常生活の何気ない会話や質問、疑問など子どもの話に耳を傾ける事で育まれる時間、心の奥に抱えている感情を理解することで興味を持っている事、悩みや問題に対して気付く為の機会も親子には必要であり、その悩みや問題を共有し解決する事によって、心の安らぎや親子の絆を育む事ができるものと考えます。

昨年に引き続き行う「OMO I Y A R I 音楽会」においても、手話や合唱を行う過程を通して、家族と思いやりの心について話し合う事で、日頃知ることのない一面も発見できるものと確信しております。また子どもたちが将来への可能性を切り拓くことのできるよう機会を創出します。そして、子どもたちが思いやりの心を家庭から地域へ地域から安来全体に広がることにより、心豊かな社会になり、より良い安来の未来を担ってくれると信じています。

私たちは次代を担う子どもたちに携わる方々や地域、行政と連携をとりながら、地域全体で安来のためである子どもたちの成長を導き、心豊かな青少年の育成に取り組んで参ります。一年間精一杯委員長を努めさせていただきますので宜しくお願い致します。

## 3. 事業計画

### 1) 広報紙ふれあい新年号の発刊（1月）

（目的）安来市民の皆様へ理事長や各委員長の所信や活動を周知する。

（方法）広報紙ふれあいを発刊する。安来市内で山陰中央新報折り込み。

### 2) 3月例会の開催

（目的）親子での絆を育む機会をつくる。

（方法）親子で協力してものをつくる体験をする。

### 3) 納涼例会の開催（6月）

（目的）日頃からお世話になっている家族に感謝し、おもてなしをする。

（方法）納涼例会の開催。

### 4) 8月例会ならびに第157回通常総会の開催

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事項について決議する。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催する。

### 5) 10月例会（OMO I Y A R I 音楽会）の開催（10月）

（目的）手話や歌の練習を通して、思いやりの心を育んでもらう。

（方法）歌手の藤田恵美氏をお招きし、OMO I Y A R I 音楽会を開催する。